

ゴルフ会員権が値上がりしている。米大統領選後の株高を背景に個人富裕層の資金が流入している。冬場はオフシーズンのため例年は閑散期にあたるが、今年は異例の展開。富裕層の購入が多いリゾート会員権の取引も活況となっている。

関東ゴルフ会員権取引業協同組合(東京・千代田)がまとめた関東圏の平均価格(主要150コース平均)は、5日時点で167万円。2016年12月から上昇が目立つ

## ゴルフ会員権 冬でも高値

### 株高で富裕層購入多く

ようになり、年明け後もなど高価格帯の会員権がさらに上がっている。直値上がりしている。近畿近安値の16年11月末と比べると10万円以上高い。た値上がりはみられない。

夏から値下がりが続いた反動もあり「高額コースに個人の買いが戻っている」(仲介大手の桜ゴルフ)東京・中央)。会員権流通価格が1470万円前後の戸塚カントリー倶楽部(横浜市)や520万円前後の麻倉ゴルフ倶楽部(千葉県佐倉市)は珍しいという。